ぴーちっこ

発行　社会福祉法人　聖友ホーム
聖友乳児院（乳児院）
聖友学園（児童養護施設）
ともさぽ（フォスタリング機関事業）

聖友ホームは、１９２３年の産院開設から数えて２０２３年に創立１００周年を迎えておりました。建物が全部できてから、完成した建物でお祝いをしようと皆で準備をしてきて、２０２６年３月末の完成を迎え、お祝いとして、聖友フェス、職員慰労会、落成式を開催しました。イベント特集号です。

全棟完成しました！

東の支援棟と西の生活棟を切れ目なくつなぐブリッジです。５月には鯉のぼりを飾りました。

道路から見た支援棟正面

地域の方から「ライトがきれいですね」と言われる夜の様子

支援棟も完成したので
待ちに待った
聖友フェス開催!!

いつもはこんな感じのホールが‥
人でいっぱいになりました～

６月７日の午後、できたばかりの支援棟・地域交流スペース（ホール）は、乳児院の子どもたち、学園の子どもたち、退園生、退職職員、地域の方々と職員たちで、いっぱいになりました。

職員が遊びや食べ物のお店を出しました。

ブリッジの下の中庭も開放～
人工芝だから走りやすい？

ステージの司会は乳児院の鈴木さんと学園の板東さん
司会のプロかと思った？！

お芋スイーツのキッチンカーも来てくれました

お店を回る
スタンプカード

ThanksDay 全員労われな祭（ねぎらさい）！

日頃、子どもたちのために真剣に働いている職員の皆、ありがとう、ということで、５月２８日、６月７日に、職員慰労会を開きました。２４時間３６５日子どもたちの生活を守る職員たちは、同じ時間に全員で集まれず、２回にわけての慰労となりました。

お菓子の入った記念の巾着が職員全員に配られました

《労われな祭　新任職員コメント》

ゲームは大変盛り上がり、豪華な食事とともに、とても充実した時間を過ごせました。聖友学園の方とお話しできたことも大変嬉しく思います。（乳児院職員）

ｉｔｏ（イト）という、協力型ボードゲーム
予想以上に盛り上がりました。

乳児院の職員と話すことができて楽しかったです。先輩も沢山話しかけてくれて不安や緊張が解けて話しやすかったので、自分もそういう先輩になりたいです。（学園職員）

ゲームの後は高級弁当
鰻か肉寿司、好みで選べました。もちろん、デザート付！

今まで話す機会がなかった職員と交流できました。ゲームでは、チーム全員で協力し合う中で、普段とは違う一面を知ることができ、一体感も生まれて、とても楽しかったです。（乳児院職員）

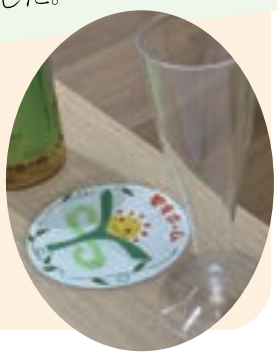
落成式もありました

役員（理事、監事、評議員）と職員が一緒に、設計者の共同設計（株）の方、建設者の（株）ナカノフドーの方から、旧舎解体から生活棟完成、そして支援棟完成までの様々なご苦労を伺って、改めて完成の喜びを強く感じる時間となりました。

同じグループは面識のない方が多く最初は不安でしたが、ゲームを通して仲が深まりました。会食時も互いに質問して会話が盛り上がり、有意義な時間でした。（乳児院職員）

普段会わない職員とも交流できて、美味しい食事を囲みながら楽しい時間を過ごすことができました。聖友ホームの温かさを感じました。（学園職員）

お昼なので、ノンアルコールワインで乾杯しました。コースターはもちろん、聖友マークです。



１００周年委員から

・・・・・記念誌作成と、３つのイベント開催に携わった委員からの一言です

旧舎の建て替えイベントも含めて、短期間に多くのイベントがつまった目が回るような２年間でした。少人数の委員会メンバーで駆け抜けるように活動をしてきましたが、無事ゴールまで完走することができて安堵しています。

記念誌は、外部の業者に委託しました。株式会社アドバンドさんのおかげで素晴らしい記念誌が完成しました。当時は旧舎の建て替えイベントや引っ越しと同時進行で作業しており、必要な写真データがどこにあるか分からず、締め切りが迫る中で古いフォルダを必死で捜索したのもいい思い出です。

「労わられな祭」は美味しいお弁当やデザートが目玉でしたが、さらに、聖友ロゴがプリントされたミニ巾着も全職員に配布しています。職員にできるだけたくさんお土産を持って帰ってもらいたいということで、お菓子をギュギュッと詰めた夢のあるミニ巾着になりました。

未来の２００周年記念委員会の皆さん、どうか２００周年は更に素晴らしいイベントを開催してください。

乳児院　心理担当職員　榎本静花

記念誌も作りました

子どもたちと職員にとってのアルバムみたいな記念誌にしようと、１００周年委員が趣向を凝らし、外部の編集業者に依頼して作りました。

職員への日頃の感謝と労いを込めたイベント「サンクスデー　～全員労われな祭(さい)！～」を2回にわたり開催しました。

２部構成の第１部では、ボードゲーム「ｉｔｏ」に挑戦しました。自分の手札の数字を直接言わず、お題に沿った「たとえ」で表現し合い、全員の回答を番号順に並べる協力ゲームです。普段は聖友乳児院と聖友学園の職員が交流する機会はあまりありませんが、「白米に合いそうなもの」などのお題に対し個々の価値観を言葉にして共有し合うことで、自然と打ち解けていきました。完璧に順番が揃ったグループでは歓声が上がったりハイタッチをしたり、会場は大いに盛り上がりました。

第２部の会食では、肉寿司や鰻の豪華なお弁当から好みのものを選び、近隣で有名なフルーツサンドやゼリーを堪能しました。楽しい会話で心もお腹も満たされ、施設間の絆が一層深まる特別なひと時となりました。

学園　自立支援担当職員　関　悠希

ご寄付のお願いと感謝

いつも聖友ホームにお心を寄せていただき、ありがとうございます。

建物建築中の３年間、新棟ができたら備品が必要になりますと、皆様に寄付をお願いしてまいりました。おかげ様で、生活棟、支援棟ともに、必要な備品を配備できております。皆様のご支援に、こころから感謝申し上げます。子どもたちの暮らしは続きますので、どうぞこれからもご寄付のご支援、ご協力をお願いいたします。

《振込先》

①郵便局
記号番号　00160-1-766760
口座名義　聖友ホームささえ隊
②銀行名　ゆうちょ銀行（9900）
支店名　〇一九店（019）
口座番号　0766760（当座預金）
受取人名　セイユウホームササエタイ

発行　社会福祉法人 聖友ホーム
法人本部　TEL 03-3336-9830 FAX 03-3338-4679
聖友乳児院　TEL 03-3338-1849 FAX 03-3338-4679
聖友学園　TEL 03-3338-1844 FAX 03-3338-1894
〒166-0001
東京都杉並区阿佐谷北3-28-19
Eメール　sasaetai@seiyuhome.org　ホームページ　https://seiyuhome.org